

平成 22 年度あいち森と緑づくり事業について

平成 22 年度全体予算：2,200,000 千円

1 森林・里山林整備事業（農林水産部） 平成 22 年度予算：1,394,130 千円

1) 森林の整備 平成 22 年度予算：1,196,695 千円

○ 事業概要

林業活動では整備が困難な奥地や作業が困難な公道・河川沿い等の人工林について、公益的機能を十分に発揮する森林へ誘導するために県が間伐等を実施する。

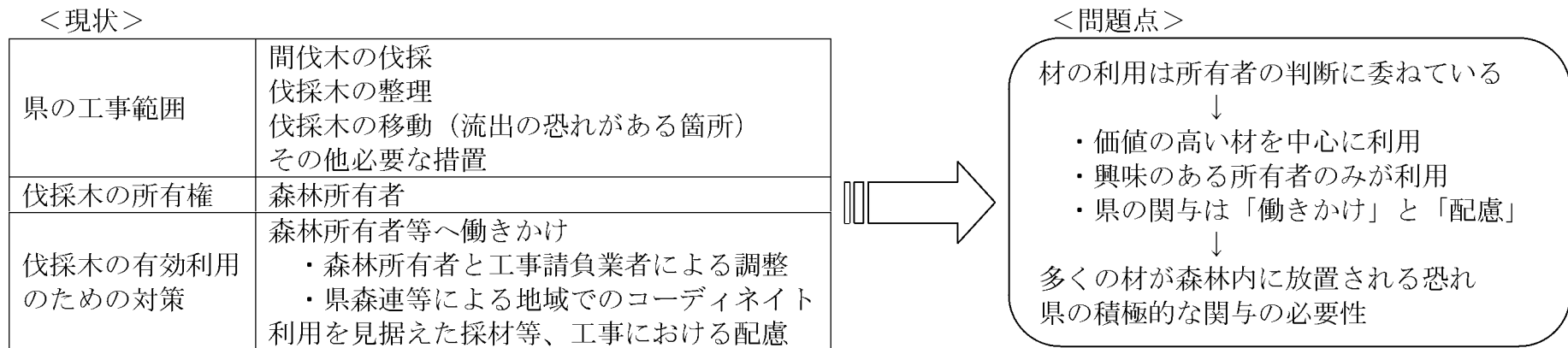
区分	事業対象地	主な内容	全体事業量
奥地林	・林道等から遠く離れた森林（概ね 300m 以上） ・16～60 年生のスギ、ヒノキ人工林 ・公有林や保安林を除く	・調査、測量等 ・強度の間伐（原則 40% 以上） ・作業道の整備（作業効率向上のため）	10,000ha
公道・河川沿い等	・作業性の悪い公道・河川沿い等の森林（概ね 100m 以内） ・16～60 年生のスギ、ヒノキ人工林 ・公有林や保安林を除く	・調査、測量等 ・強度の間伐（原則 40% 以上） ・伐採木の安全対策	5,000ha
※ 皆伐や転用禁止等を定めた 20 年間の協定を締結する。			15,000ha

○ 平成22年度計画及び進捗状況

22 年度実施計画（単位：ha）				進捗状況	
市町村	奥地	公道	計	調査・測量	間伐事業
岡崎市	46	73	119	明見町で調整中	調査・測量完了次第発注予定
豊田市	250	165	415	豊田市全域で調査・測量中	豊田市御内町他で発注済
設楽町	104	89	193	荒尾、平山で調査・測量中、豊邦他で立会中	調査・測量完了次第発注予定
東栄町	118	29	147	古戸で調査・測量中	調査・測量完了次第発注予定
豊根村	175	32	207	坂宇場で調査・測量中	調査・測量完了次第発注予定
新城市	282	96	378	黄柳野で調査・測量済み、中島他で立会中	黄柳野で発注予定、その他順次発注予定
豊橋市	10	6	16	嵩山町他で調整中	調査・測量完了次第発注予定
豊川市	15	10	25	千両町他で調整中	調査・測量完了次第発注予定
計	1,000	500	1,500		

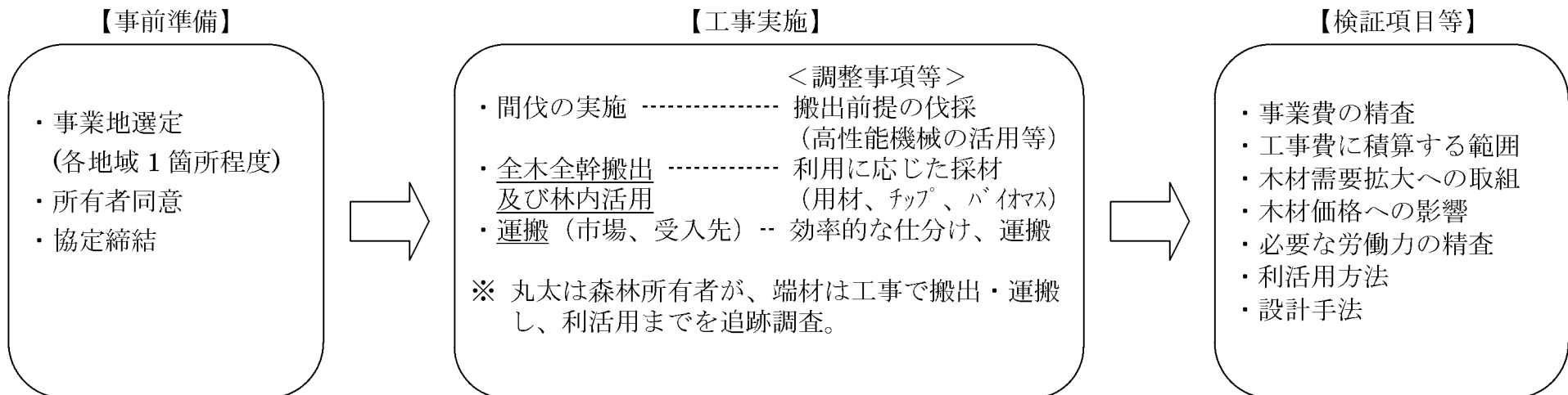
あいち森と緑づくり人工林整備事業における伐採木の有効利用について

○ 現状及び問題点

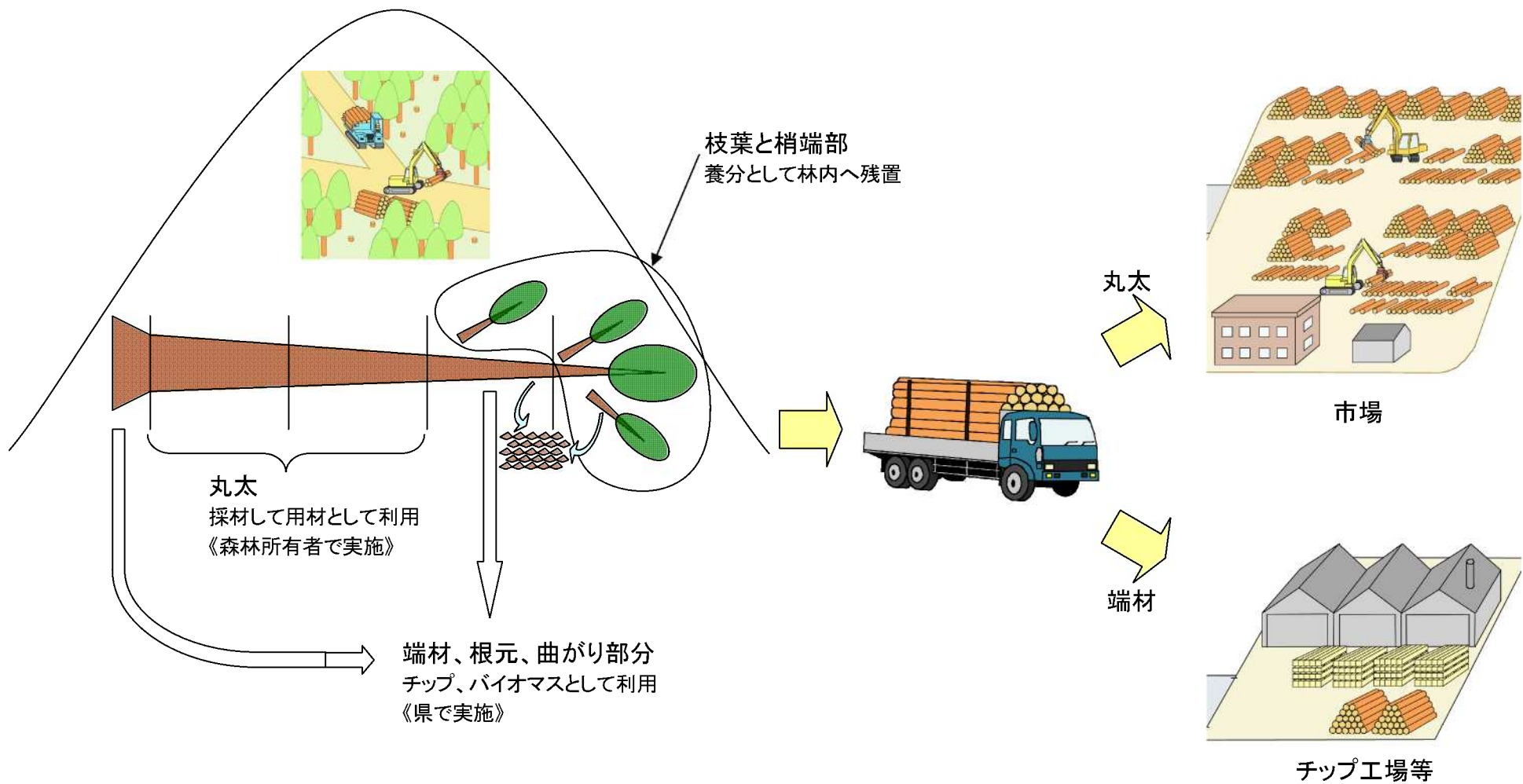


○ 平成 22 年度の試験的取り組み（案）

本事業で行う間伐は森林の保全が主目的であるが、木材の有効利用をより積極的に進めるために、一部の事業地において、試験的に全伐採木の全幹を搬出、運搬、売却或いは処分を行い、それぞれの費用等を検証し、今後の事業展開の参考とする。



【試験的取組のイメージ図】



2) 里山林の保全

平成22年度予算：197,435千円

○ 事業概要

手入れがされていない里山林を再生するための整備に加えて、防災機能向上のための簡易防災施設の設置等を実施する。

また、地域の特性やニーズに応じて、市町村が行う地域住民やNPO等との協働による保全活用を前提とした計画に基づく提案型の里山林整備、あるいは手入れのされていない里山林の健全化のための整備に対して交付金を交付する。

区 分		事業対象地	主な内容	全体事業量
県事業	里山林再生整備	<ul style="list-style-type: none"> ・都市近郊の人工林以外で長期間放置された森林 ・市町村森林整備計画における「森林と人との共生林」 ・公有林や保安林を除く 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査、測量等 ・抜き伐り、枯損木や竹の除去 ・簡易な柵工、土留工 	42箇所
市町村交付金事業	提案型里山林整備	<ul style="list-style-type: none"> ・都市近郊の人工林以外で長期間放置された森林 ・市町村森林整備計画における「森林と人との共生林」 ・保安林を除く 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査、測量等 ・管理道、作業小屋等 ・用地取得 	40箇所
	里山林健全化整備	<ul style="list-style-type: none"> ・都市近郊の人工林以外で長期間放置された森林 ・市町村森林整備計画における「森林と人との共生林」 ・公有林や保安林を除く 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査、測量等 ・抜き伐り、枯損木や竹の除去 	120箇所 1,200ha

※ 保全活用を趣旨とした20年間の協定を締結する。

○ 平成22年度計画及び進捗状況

区 分		22年度実施計画		進捗状況
		実施箇所	事業量	
県事業	里山林再生整備	春日井市、小牧市、豊橋市、田原市	4箇所	春日井市東神明町、小牧市岩崎町、豊橋市石巻町、田原市日出町で地元調整中
市町村交付金事業	提案型里山林整備	名古屋市、日進市、常滑市、東海市、岡崎市、豊橋市、蒲郡市、田原市	8箇所	提案型里山林整備 岡崎市芽原沢町、田原市片浜町で計画承認済み 名古屋市守山区、日進市岩崎町、常滑市大谷、東海市中央町、豊橋市岩屋町、蒲郡市三谷町他で地元調整中
	里山林健全化整備	名古屋市、日進市、美浜町、東海市、常滑市、幸田町、幡豆町、岡崎市、豊橋市、田原市	10箇所	里山林健全化整備 名古屋市千種区他、田原市田原町他始め10市町村で調整中

里山林健全化整備の公有林での実施等について

1 現状

平成21年度の「里山林健全化整備」は、計画3箇所に対し実績は2箇所となっているが、面積では10ヘクタールの計画に対し、約2ヘクタールの実績見込みとなっている。

これは、事業対象地が私有林に限定されており、都市近郊の私有林は資産目的で所有されていることが多く、原則20年の転用禁止がネックとなり、所有者の同意が得られにくいため、進んでいない。

2 今後の検討課題

市町村有林で事業を実施した箇所をモデル事例として活用し、周辺の私有林でも事業実施を図りたいという市町村からの強い要望を受け、市町村有林でも実施できるよう、あいち森と緑づくり事業計画を以下のとおり拡充することを検討する。

また、所有者の同意が得られにくい20年間の転用禁止期間の見直しについても、検討する。

(参考)里山林健全化整備の事業対象地

- ・都市近郊の「天然林で長期間手入れのされていない森林
- ・市町村森林計画において、「森林と人との共生林」に位置づけられた森林

原則として

- ・公有林を除く
- ・保安林を除く



- ・都市近郊の「天然林で長期間手入れのされていない森林
- ・市町村森林計画において、「森林と人との共生林」に位置づけられた森林

原則として

- ・保安林を除く

2 都市緑化推進事業（建設部） 平成 22 年度予算：600,000 千円

○ 事業概要

都市における樹林地の保全・創出を図る事業や、民有地の緑化、県民参加で実施する緑化活動や都市緑化の普及啓発活動などへの支援を図るための事業に要する経費を市町村に交付する。

事業区分	交付対象事業	全体事業量
身近な緑づくり	・市街化区域及び市街化調整区域内の既存集落で、既存樹林の保全を行う事業 ・市街化区域及び市街化調整区域内の既存集落で、環境改善・延焼防止などの機能を有する新たな緑地の創出を行う事業	60 箇所
緑の街並み推進	・市街化区域及び市街化調整区域内の既存集落で、民有地の建物や敷地の緑化を進めるために、市町村が定めた緑化施設評価に基づく、優良な緑化事業	460 件
美しい並木道再生	・沿道または近隣に公共施設（駅・公園・役場等）を有する市町村道及び県管理道路を、その地域の顔となる美しい並木道へと再生する事業	24 箇所
県民参加緑づくり	・公有地において県民参加による樹林地整備、植栽、ビオトープづくりなどの緑づくり活動や体験学習を実施する事業。およびこれを市民団体が実施する場合の支援事業 ・緑の活動を実施する市民団体を育成するため、市民団体等の活動に講師の派遣等をする事業	600 回

○ 平成22年度計画及び進捗状況

事業区分	22 年度実施計画		進捗状況
	実施箇所	事業量	
身近な緑づくり	名古屋市、一宮市、半田市、豊田市、西尾市、犬山市、尾張旭市、豊山町、扶桑町、幸田町 10 市町	11 箇所	各市町村にて ・各事業の実施に向けて準備中 ・緑の街並み推進については、申請受付中
緑の街並み推進	名古屋市、豊橋市、一宮市、刈谷市、豊田市、安城市、蒲郡市、小牧市、知立市、長久手町、東浦町 11 市町	50 件	
美しい並木道再生	豊橋市、一宮市、豊川市、刈谷市、常滑市、東海市、知多市、田原市、美浜町、一色町 10 市町	13 箇所	
県民参加緑づくり	名古屋市、豊橋市、碧南市、刈谷市、安城市、蒲郡市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、弥富市、みよし市、東郷町、長久手町、扶桑町、飛島村、幸田町 22 市町村	60 回	

3 環境活動・学習推進事業（環境部） 平成22年度予算：57,000千円

○ 事業概要

多様な主体による自発的な森と緑の保全活動や環境学習の一層の進展を図るため、NPO、市町村等を対象に企画提案型の交付金事業を実施し、活動に対する支援を行う。

区分	交付対象事業	全体事業量
環境保全活動	1 里山・里地や水辺等において、多様な生態系の保全やふれあいの場の創出など、健全な緑を保全・育成するため継続的に実施する事業 例：里山保全の技術指導・指導者養成、植樹、野生動植物の保護及びその生息生育空間の保全等	300 事業
	2 1の取組を新たに立ちあげるために必要となる事業 例：里山整備計画作成	
環境学習	3 森林の水源涵養機能や人を始めとした生物が享受している緑による水の恩恵を学ぶ事業 例：水源の森を訪ねる山歩きイベント、森林の水源涵養機能を学ぶ実験 等	
	4 山村と都市の交流を通して地域の森林文化を体験・学習する事業 例：森林保全等で活動している河川上流域のNPO等による環境学習講座 等	
	5 森林生態系の保全の大切さや手法を学ぶ事業 例：森林作業体験、自然観察会、間伐材を用いた工作教室 等	
独自提案	6 地球温暖化の防止やヒートアイランド現象の緩和に役立つ緑（植物）の生育を通じた太陽や自然の恵みを学ぶ事業 例：緑のカーテンなど植物（緑化）の生育実習と環境学習講座の実施 等	
	7 上記1～6に該当しない、創意工夫を凝らした独自の生物多様性に関連した環境活動・学習事業 例：いきものマップ作成、在来種を活用した生物多様性保全による緑化推進 等	

○ 平成22年度計画及び進捗状況

22年度実施計画		進捗状況
実施箇所	事業量	
名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、豊田市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、新城市、大府市、知多市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、みよし市、東郷町、長久手町、豊山町、扶桑町、蟹江町、阿久比町、東浦町、美浜町、一色町、幡豆町、幸田町、設楽町、豊根村（以上、41市町村）	88 事業	<ul style="list-style-type: none"> 企画提案の公募：3月4日～3月31日（97事業の応募） 事業実施：6月上旬～

4 事業推進費（農林水産部） 平成 22 年度予算：148,870 千円

○ 事業概要

区 分		主な事業内容	全体事業量
森林整備技術者養成事業		・奥地林や公道・河川沿い等、通常の森林整備より作業条件が悪い事業に従事するために必要な技術・技能を短期間で習得させる研修を実施し、技術者の確保、育成を進める。	200 人
普及啓発事業	木の香る学校づくり推進事業	・森林整備の意義や木材活用の効果について普及啓発を進めるため、公立小中学校に愛知県産木材を使用した児童生徒用学習机・椅子導入に必要な経費の一部を市町村に交付する。	70,000 セット
	森林体感ツアー等	・あいち森と緑づくり税やそれを財源とした事業及び、森や緑の保全、活用の意義等についての普及啓発を行う。(森林体感ツアーの実施、PRパンフレットの作成・配布等)	—
推進事務費		・あいち森と緑づくり委員会開催 ・市町村説明会の開催 ・事業調整等	—

○ 平成22年度計画及び進捗状況

区 分		22 年度実施計画		進捗状況
		実施箇所	事業量	
森林整備技術者養成事業		森林・林業技術センター等	45 人	・受講生募集（5月） ・開講式（6月15日実施） ・研修実施（6月15日～10月29日まで）
普及啓発事業	木の香る学校づくり推進事業	豊田、幸田、新城、豊根、豊橋市、	7,000 セット	・豊橋市で実施中 ・その他調整中
	森林体感ツアー等	県内	体感ツアー2回 事例集 1,000 部	・森林体感ツアー（夏、秋開催の予定） ・各種イベント等でのPR 他
推進事務費		県内	委員会 4回 説明会 随時	・委員会 第1回(5月24日)、第2回(秋)、 第3回(冬)、第4回(年度末) ・県事務所及び県庁により随時市町村への説明会を実施

※ 上記の他に、総務部において自動車税の納税通知書用封筒裏面(約 210 万通)に広報文の印刷、法人県民税の納税義務者用チラシ(約 21 万枚)作成等を実施するとともに、個人住民税の納税通知書裏面(約 367 万通)にお知らせ文言の印刷を市町村に依頼。

木の香る学校づくり推進事業の制度拡充について

1 現状

平成21年度の「木の香る学校づくり推進事業」は、3,500セットの計画に対し1,290セットの実績見込みとなっている。

これは、市町村の財政状況が悪化し、机・椅子の更新が進まないこと、交付額を県産の木材を使用した製品とスチール製との純粋な差額としているため市町村の予算化がしづらいこと、机・椅子の更新サイクルが異なることからセットでの更新が少ないことにより、市町村が活用しづらい制度となっていることが理由と考えられる。

2 対応状況

以下のように、市町村が活用しやすい制度への拡充を検討している。

- ・机・椅子の個々の導入や机の天板の取替も助成対象とする。
- ・差額を差額相当額とし交付単価を設定し定額制とする。

3 今後の検討課題

音楽教室や技術教室のように全校生徒が利用する教室への机・椅子の導入については、全額助成してほしいとの要望も市町村から寄せられている。

あいち森と緑づくり事例集の作成

1 目的

平成 21 年度実施のあいち森と緑づくり事業の中で、参考となる事例や事業実施にあたって熱心な地域の取組状況の事例集を作成し市町村を始め一般の方々に配布することにより、県民の皆様への事業普及啓発の促進を図るとともに、事業内容の充実や事業推進意欲の向上、地域への波及効果を期待する。

2 記載内容

人工林整備、里山林整備、都市緑化、環境活動・学習、木の香る学校づくりからそれぞれ数点程度を以下の内容を記載する。

- ・事業の概要及びねらい等
- ・写真（整備前後等）
- ・案内図（現地を見に行っていたりするような地図）

3 事例（案）

（1）人工林整備

○北設楽郡東栄町古戸

事業地のとりまとめについて、地域で自主的に団体を立ち上げ、事業の推進に努め、約 70 ヘクタールの団地を取りまとめた。



伐採前



伐採後

○北設楽郡設楽町津具字油戸

作業性が悪く手入れのされていなかった公道沿いの森林が、事業の実施により、明るくなり、その効果が多くの人々の目に触れる事業地。



伐採前



伐採後

(2) 里山林整備

○田原市加治町

本事業をきっかけに、地域の方々により周辺の里山林において抜き切り等の活動が始まった地域。



あずまや・歩道の整備



管理道の整備

(3) 都市緑化

地域バランスや事業バランスを考慮して選定した。

○緑の街並み推進事業

名古屋市中川区における社員の駐車場緑化



整備前



整備後

安城市における会社厚生棟の屋上緑化



整備前



整備後

○美しい並木道再生

常滑市における県道から市体育館、県立常滑高校へ到る市道



整備前



整備後

○県民参加緑づくり

豊橋市（豊橋総合スポーツ公園）における市民植樹祭



植樹状況



植樹後

みよし市における講師派遣によるあじさい勉強会



実技講習（剪定）



実技講習（植え付け）

(4) 環境活動・学習

県民や地域との協働による取組の広がりが期待できる、森と緑の保全活動や環境学習を選定した。



植林（水源地の森づくり：東栄町）



森の体験学習（犬山市）

(5) 木の香る学校づくり推進

多くの事例写真を掲載することにより、普及啓発につなげていきたい。



名古屋市立笹島小学校、中学校



飛島村立飛島学園